



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料
配布日

平成28年11月9日

■同時発表先：広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ
岩国日刊記者クラブ

11月9日発生、小瀬川における生コンクリート流出について

平成28年11月9日（水）13時00分頃、小瀬川（大竹市防鹿地内）において生コンクリートの流出が確認されました。

詳細は別紙のとおり。

<問い合わせ先>



小瀬川
シンボルマーク

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所
小瀬川水質保全連絡協議会（事務局）

副所長（技）
管理第一課長

さきなだ けいじ
先灘 啓二
よねだ まさふみ
米田 昌史

082-222-9248（直通）

〒730-0013 広島市中区八丁堀3-20 電話：082-221-2436（代表）
ホームページURL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>



平成28年11月9日発生 小瀬川における生コンクリート流出について

1. 事故発見日時

平成28年11月9日（水） 13:00頃

2. 事故発見状況

- ・ 13:35、広島県西部建設事務所廿日市支所発注工事受注業者より、生コンクリート約1m³が小瀬川へ流出したとの連絡が小瀬川出張所へ有り。
（太田川河川事務所へは、13:30）
- ・ 14:00頃 小瀬川出張所職員が現地を確認。

3. 事故発生箇所

河川名：小瀬川左岸 防鹿地内（8k900） （位置図参照）

4. 事故発生原因

防鹿トンネル上流取付L型擁壁の基礎杭施工中、ケーシングが既設管渠を破損したことに気づかず、コンクリート打設を行ったため、当該管渠を伝って、生コンクリート約1m³程度が小瀬川に流出した。

16:30より、汚濁防止膜の現地設置作業を開始。

16:45に、汚濁防止膜の設置を完了。

5. 水質事故の規模

- ・ 下流において、濁りを確認したが、魚の斃死は見受けられない。

6. 事故対策

- ・ 小瀬川出張所において、下流部のパトロールを実施。結果は上記のとおり。

7. 現地対策機関

- ・ 特になし

8. 取水への影響

14:30 大竹市上水道取水停止

16:00 通常取水再開

なお、上水道の供給に影響なし。

9. 生態系への影響

現時点で周辺及び下流域での生態系への影響は確認されていない。

水質事故 発生箇所 位置図

